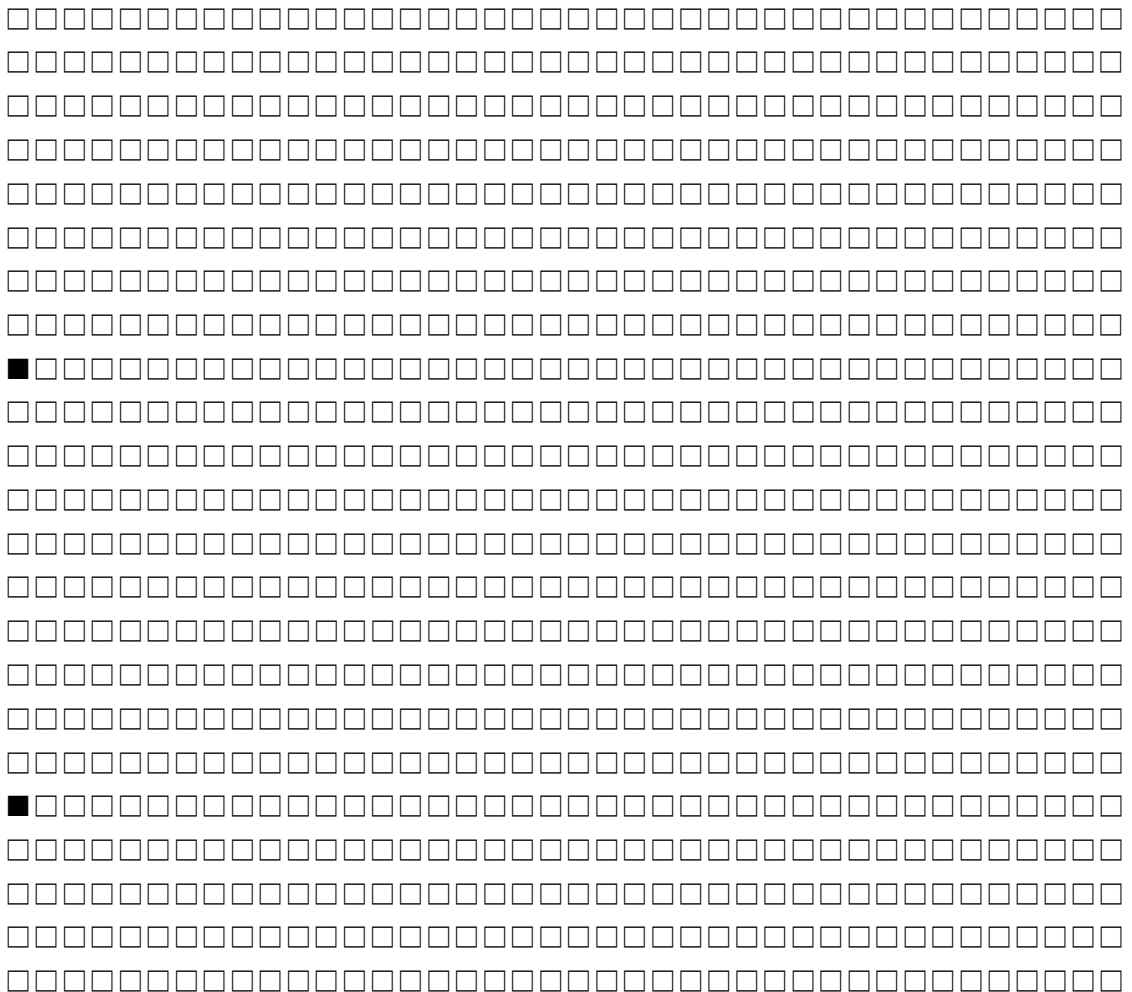
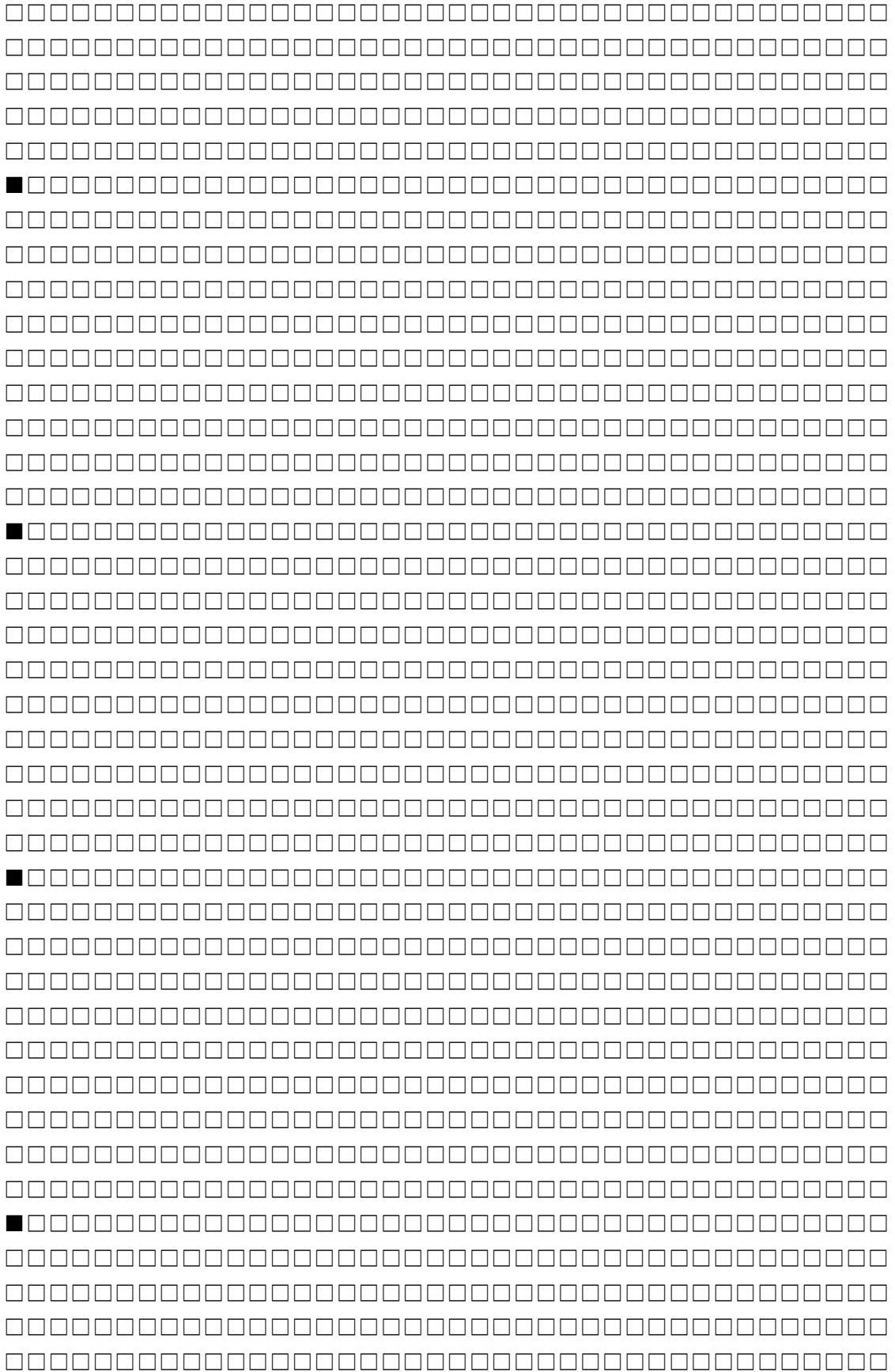


※見出しの前 1行あける。

1ー2 口中見出しゴシック体（フォントの例：MS ゴシック／Arial）・太字で



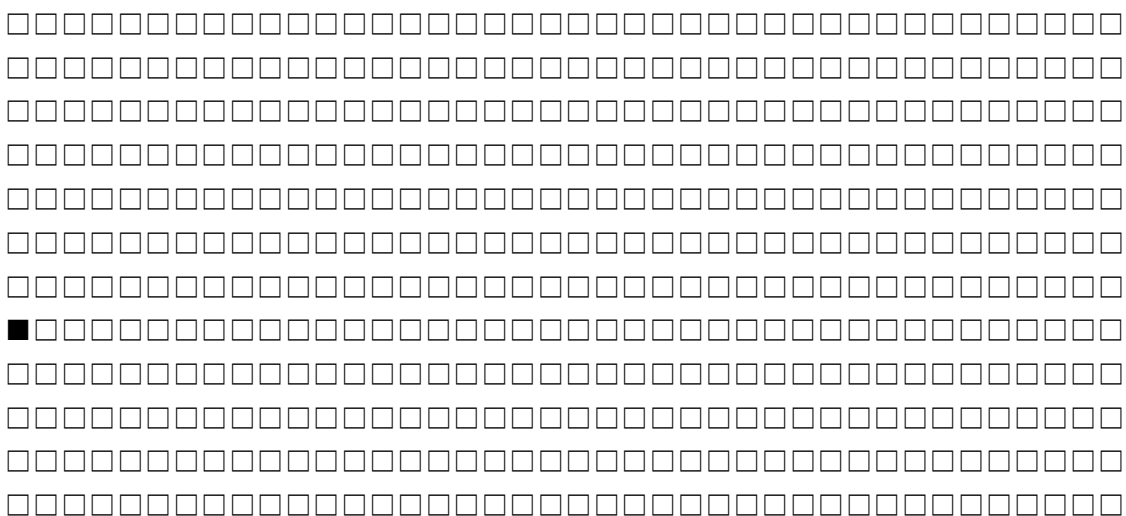


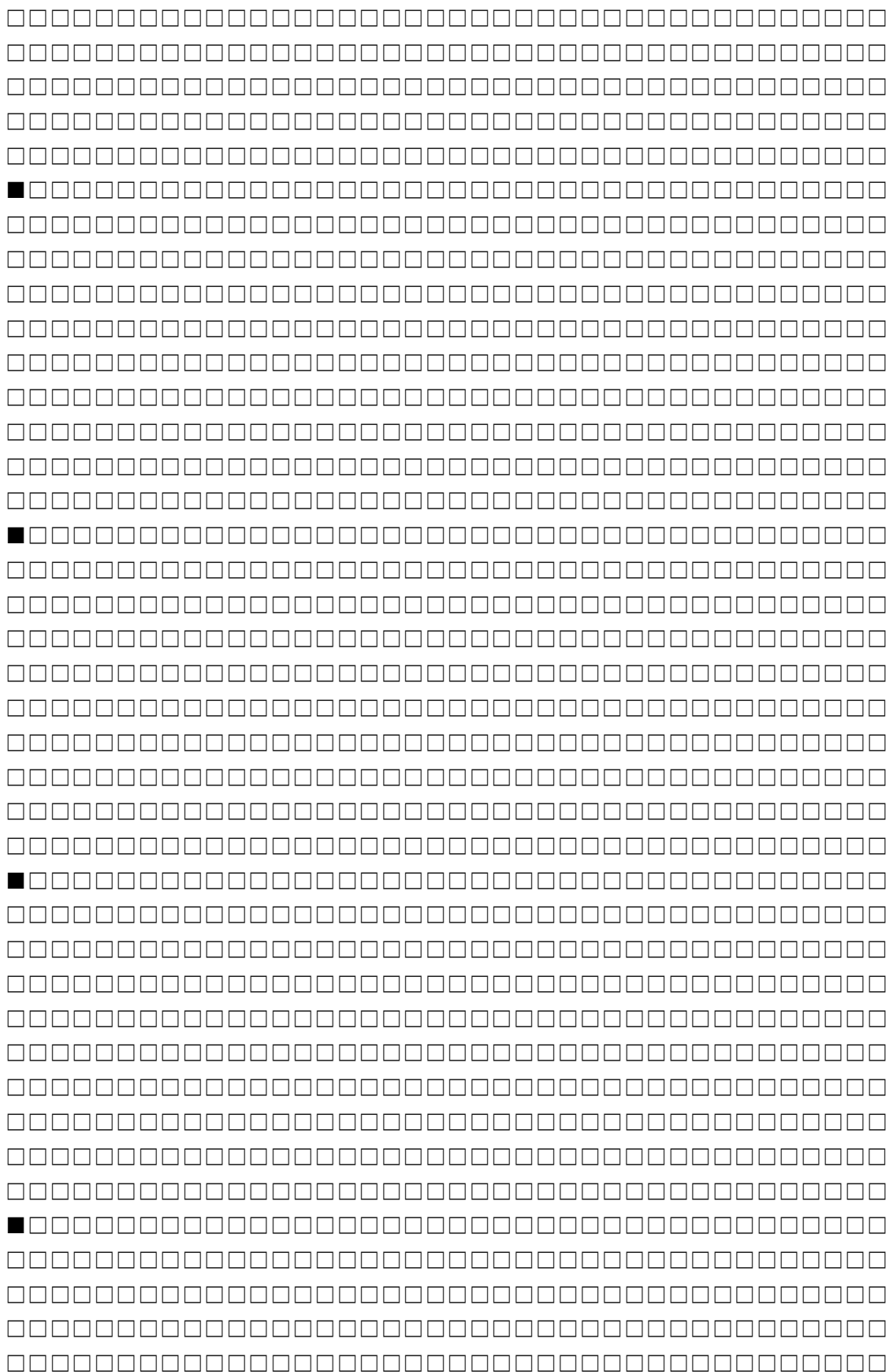


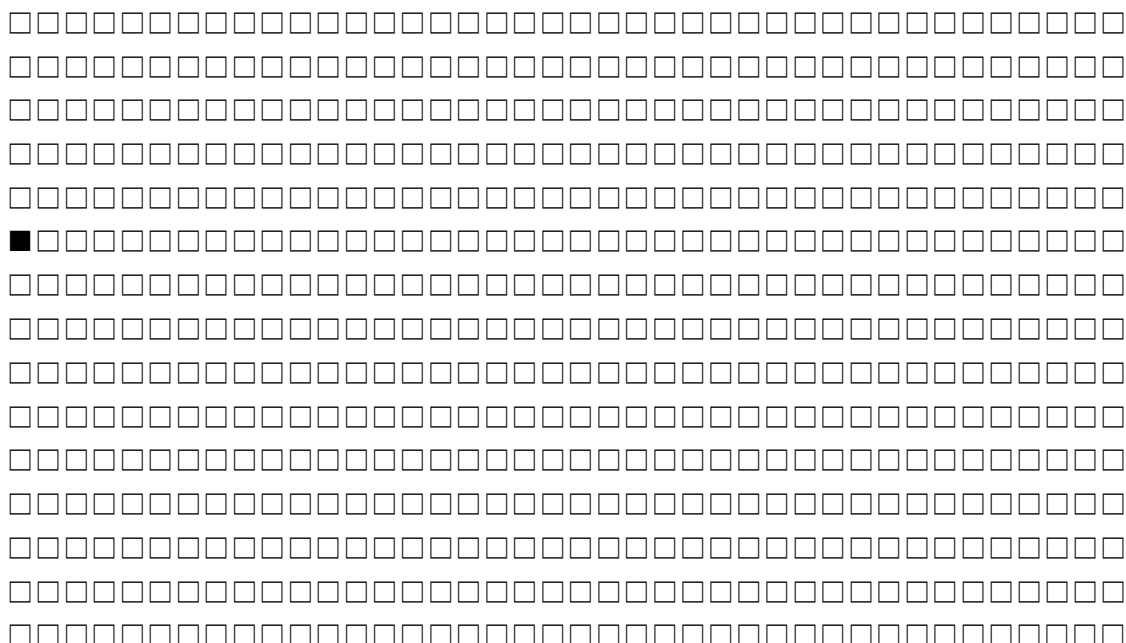
※見出しの前 1行あける。

2 □大見出し□ゴシック体 (フォントの例 : MS ゴシック / Arial) ・太字で

2 - 1 □中見出し□ゴシック体 ・ (フォントの例 : MS ゴシック / Arial) ・太字で

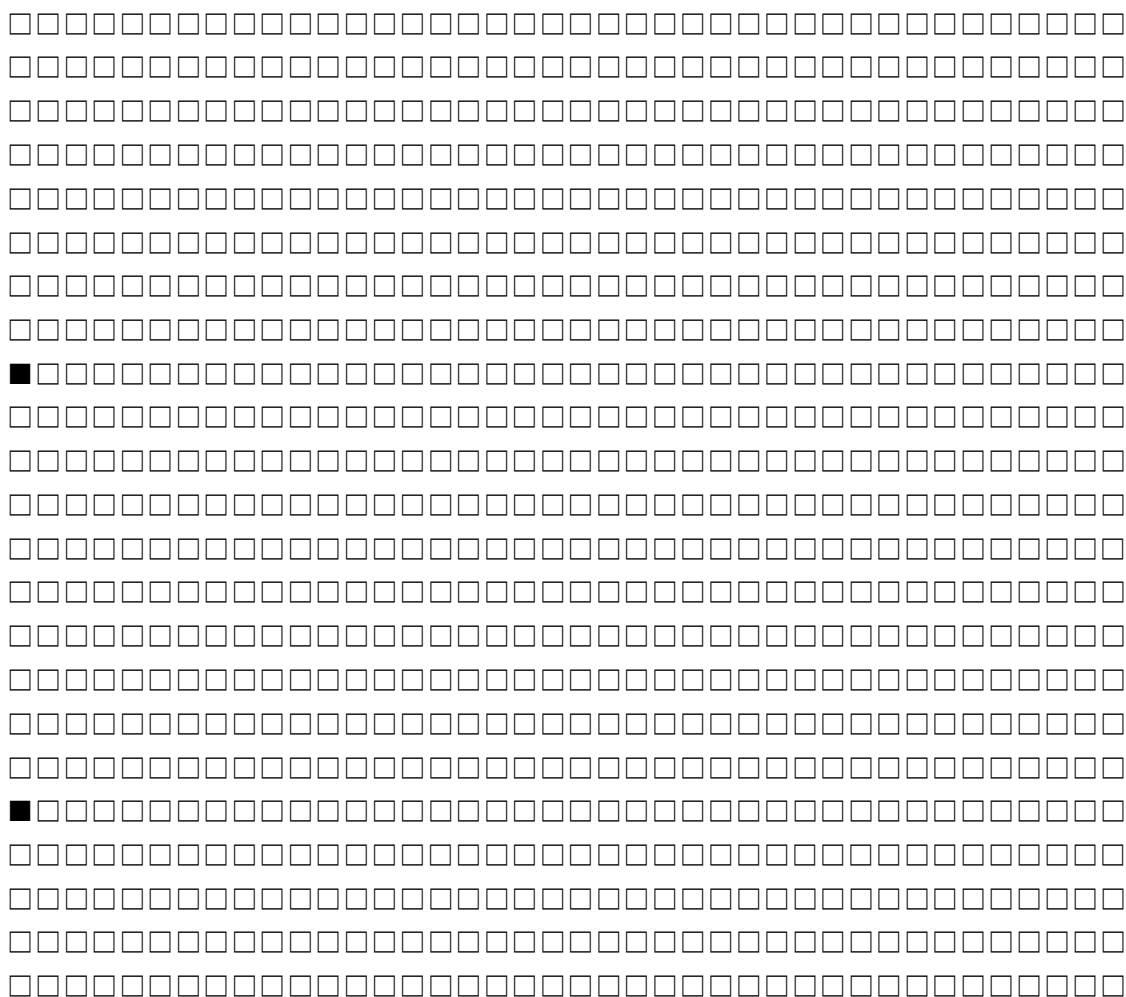


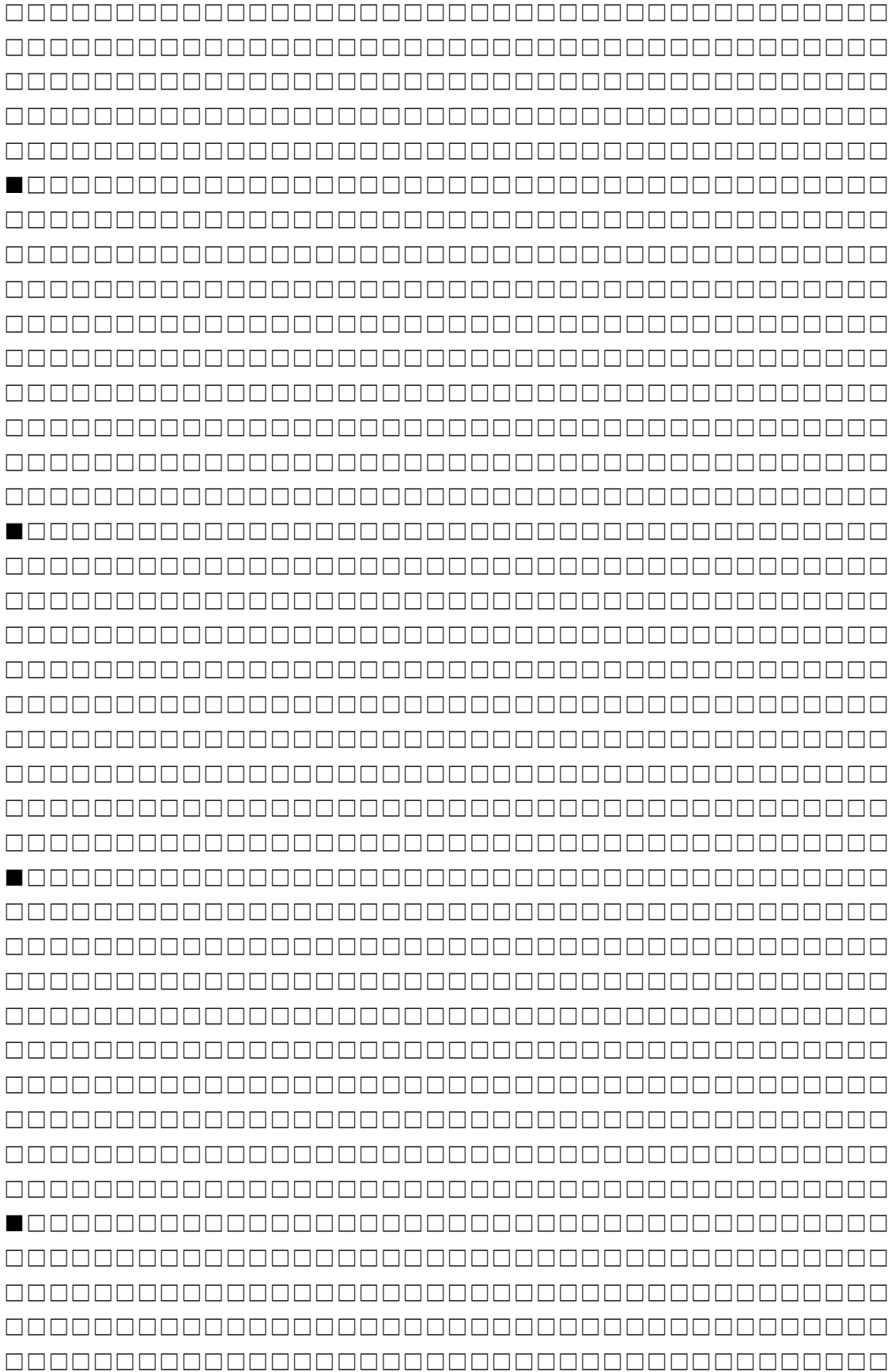


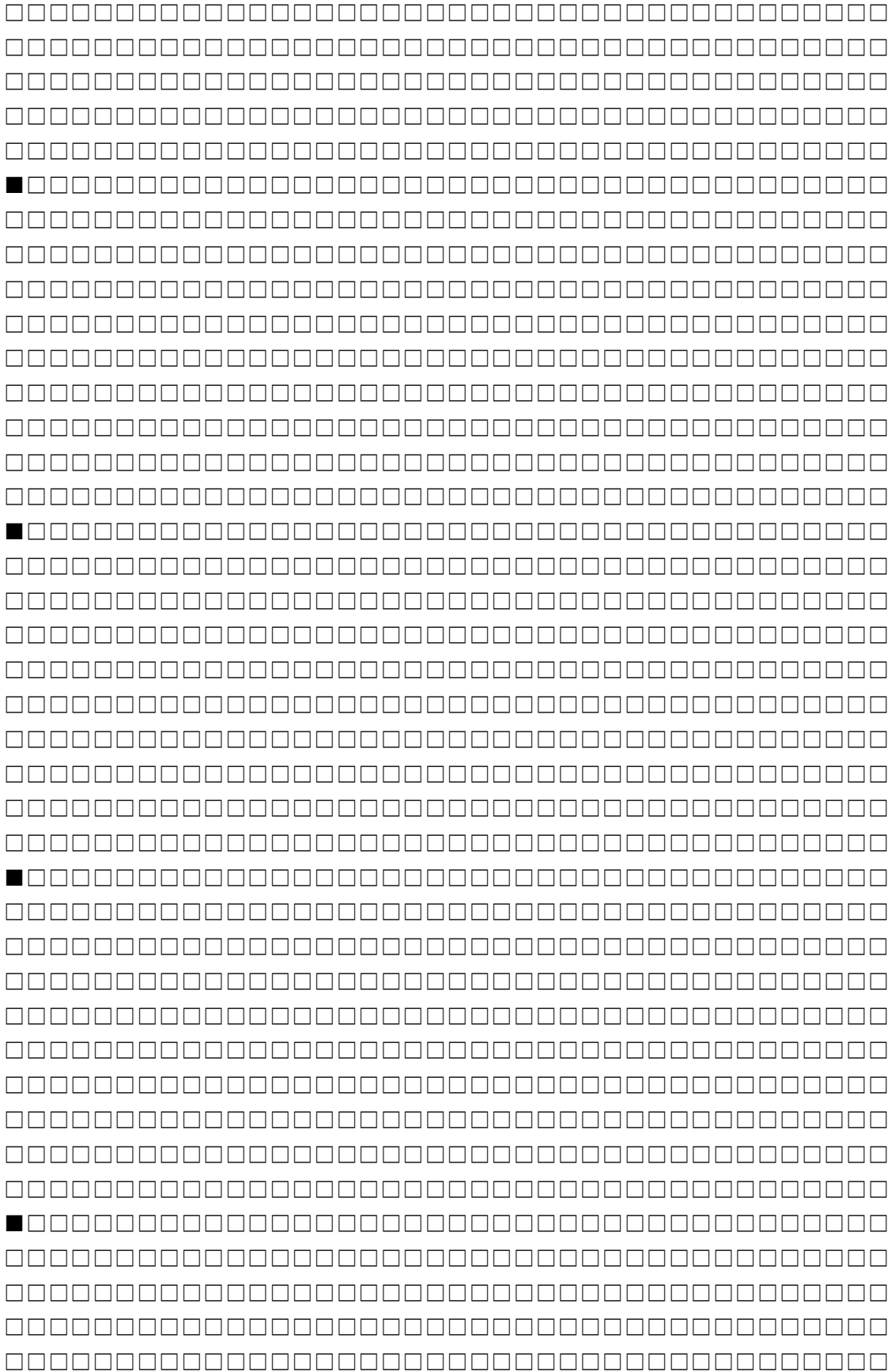


※見出しの前 1行あける

1-2 口中見出しゴシック体 (フォントの例 : MS ゴシック / Arial) ・太字で







□□□
 □□□
 □□□
 □□□
 □□□

※文献表の前 2行あける。

※文献表の前 2行あける。

参考文献

参考文献表の書式は以下のフォーマットの使用を推奨します。必要なだけコピー&ペーストして上書きしてください。以下の例は主に『論文作成の手引き』（平成26年3月）の「C. 参考文献の表記法」から抜粋しています。

文献表を「文献」と「楽譜資料」に分けるか否かなどについては、指導教員の指導を受けてください。

- 著者の姓， 著者の名
- 年号 年号の後にタブ[Tab]を1つ入れ、書誌情報をそのまま改行せず書き進めてください。改行をすると、次の年号の位置にカーソルが合うので、同じように続けてください。
 - **** 書誌情報の記述部分はグリッドを解除し、「段落後」の間隔を0.25行に設定しています。

- デュル， ヴァルター (Dürr, Walther)
- 1987 『19世紀のドイツ・リート その詩と音楽』 喜多尾道冬 訳 (東京: 音楽之友社) [*Das deutsche Sololied im 19. Jahrhundert; Untersuchungen zu Sprache und Musik.* (Wilhelmshaven-Locarno-Amsterdam: Heinrichshoven’s Verlag, 1984)]
 - 2009 『声楽曲の作曲原理 言語と音楽の関係をさぐる』 村田千尋 訳 (東京: 音楽之友社) [原書情報：ここでは省略]

- Dürr, Walther (デュル， ヴァルター)
- 1984 *Das deutsche Sololied im 19. Jahrhundert; Untersuchungen zu Sprache und Musik.* (Wilhelmshaven-Locarno-Amsterdam: Heinrichshoven’s Verlag) [『19世紀のドイツ・リート その詩と音楽』 喜多尾道冬 訳 (東京: 音楽之友社, 1987)]

- 河合 祥子
- 1977 「アウグスティヌスの『音楽論』——numerusを中心に」『音楽学』39/3, 193-204.

楽譜資料/[録音資料]

- Haydn, Joseph
- 1982 *Lieder. Gesang und Klavier.* Helms, Marianne ed. (München: G.Henle)
- Mozart, Wolfgang Amadeus
- 1957 “Symphony in C major. K.551.” Landon, H.C. Robbins ed. *Wolfgang Amadeus Mozart. Neue Ausgabe sämtlicher Werke.* (Kassel: Bärenreiter) IV/11/9. 187-266.